



伊賀市立壬生野小学校
2023年4月24日
発行責任者 藪中 俊典

授業参観等にご出席いただきありがとうございました。(4/21)

先週は、授業参観等に多数ご出席いただき、誠にありがとうございました。久しぶりに、参観者の人数に制限のない参観で、多数の保護者の方に来校いただけたこと、大変嬉しく思っています。1つ学年が上がった子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか。これから子どもたちへの「励ましの言葉がけ」と「見守り」をお願いします。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

PTA総会を開催しました。(4/21)

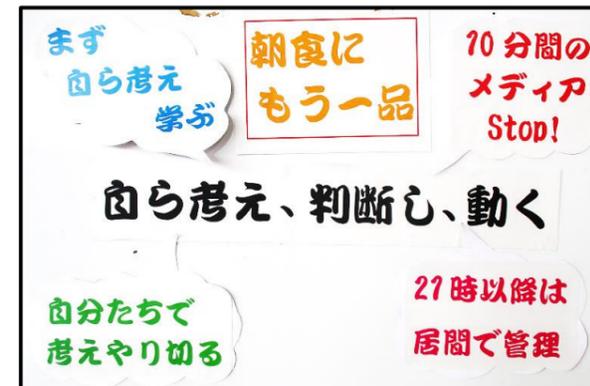
本年度は、久しぶりに、対面でのPTA総会を開催することができました。総会では、昨年度の事業報告と会計報告、令和5年度の役員・委員、本年度のPTAの努力目標、本年度の事業計画と規約の改正、会計予算の提案があり、全て承認いただきました。

2023年度 保護者と教職員の会努力目標

- 明るく健康で、心豊かな子どもを育てよう
- 子どもが安全に、生活できる環境を整えよう
 - 早寝・早起き・朝ご飯の習慣を身につけさせよう
 - 家庭学習やゲーム(インターネット・スマホ等)の時間を決めて守らせよう
 - 自分の仕事を1つ決めて、毎日取り組ませよう
 - 生命の尊さを知り、思いやりの心を育てよう
 - 相手の立場に立って考える子に育てよう・・・〇子どもの話を聴く時間をつくろう!
 - 人権意識を高め、啓発活動に取り組もう
 - 研修会や懇談会に声をかけ合って参加しよう
 - 家庭・学校・地域のつながりを深めよう
 - 自分から大きな声で挨拶ができる子に育てよう・・・〇大人から進んで声をかけよう!

本年度のキーワード「自ら考え、判断し、動く」

PTA総会の審議の後、校長から、本年度の「学校マニフェスト」と「給食無償化」について話をしました。いずれの資料も、総会要項に挟んでありますので、ご確認ください。



「学校マニフェスト」では、まず、本年度の学校運営をしていくキーワードが、「自ら考え、判断し、動く」としたことを伝えました。

その実現のため、主に以下の4つの話をしました。

- ①「自分で考える」場面を増やしていきます。
学ぶことから逃避してしまっている子どもたちはほとんど見られません。ただ、「自分で考え、判断し、動く」という態度は十分に身につけてい

るとは言いがたい実態が見られます。そうした態度は、授業以外、例えば、友だち関係などにおいても見られます。学校生活の様々な場面で、「まず、自ら考える」場面を増やしていきます。

- ②読書の習慣を身につけさせます。

昨年度から、「家庭での10分間の読書の習慣」の定着をめざしていますが、なかなか難しいです。そこで、ご家族の方にもご協力いただき、「何時何分から何分までの10分間は、みんなが一緒に、テレビもスマホもタブレットも全て消す」という時間帯を設けてほしいと思います。その時間に、できればご家族みなさんで読書をしてもらいたいです。難しい場合は、せめてその10分間は、静かな中で、家族みなさんで話をする時間としてほしいと思います。

- ③21時以降は居間で管理するようにしてください。

スマホ等を使用している時間が、伊賀市の子どもたちは、全国や三重県と比較して、かなり長時間使用していることは、これまでも何度となくお伝えしてきました。昨年度、伊賀市教育委員会が実施したアンケートでは、平日5時間以上使用している5年生の子どもが5人にひとり、中学2年生では4人に1人でした。伊賀市としての約束は、「小学生は、21時以降、使用しない」となっていますが、改善の傾向は見られません。気になるのは、使用時間とともに、その内容です。そこで、「21時以降は居間で管理をする」という取組をお願いします。21時以降使用する場合も、部屋に持ち込ませるのではなく、居間で行うようにさせてください。ご協力よろしくお願いします。

- ④達成感・自己有用感を高める取組を充実させます。

「自分たちで考え、やり切らせる」経験を大切にしていきます。子どもたちに考えさせたり、企画させたり、やり切らせたりするには、時間が必要であるとともに、まわりの大人には、忍耐力と、子どもが達成感・自己有用感を感じるような「かける言葉の吟味」が求められます。学校では、様々な学習や活動において、「企画・運営・振り返り」をさせる場面を増やしていきます。

「給食の無償化」については、次号でお知らせします。